

たけうち清海の活動報告



平成 20 年
1 月号

発行 たけうち清海後援会 市川市曾谷 1 - 2 0 - 7 3 7 4 - 2 0 4 0

議会報告 12 月議会

市川市議会 12 月定例会は 11 月 28 日から 12 月 13 日までの 16 日間にわたり開催されました。提案された議案は、公共施設における暴力団排除のための条例をはじめ 14 議案と報告 3 件合せて、17 件の審議が行われました。審議の結果、提案の議案は全て原案通り可決されました。

《平成 19 年 12 月議会の質問内容》

道路交通行政について（関係者）

- (1) 市川大野駅及び周辺整備について
 - ア、 駅周辺整備及びロータリーの利用状況について
 - イ、 市川大野駅駅舎のバリアフリー及び出入り口整備について
- (2) 東京外郭環状道路事業の進捗状況について
 - ・ 土地収用法の本市の考えについて



市川大野駅前ロータリー

市政一般について（関係者）

- (1) 千葉県内消防の広域化について
 - ア、 報道された市町村消防の広域化の理由について
 - イ、 本市を含む 6 市との組合せのメリット、デメリットについて
- (2) 大柏地区複合施設計画及び大柏出張所のその後について
 - ウ、 消防施設と併設する複合施設建設計画の進捗状況について
 - エ、 現大柏出張所の機能拡充に向けてのその後について

道路交通行政について

問 市川大野駅は、本市北部地域の交通拠点であり、更なる安全に向けての今後の整備計画を伺う。また、四月に完成した駅前ロータリーは一般車等の利用が少ない。利用増に向けての考え及び、ロータリーから駅改札口までの歩道の整備。また、駅舎のバリアフリー化の整備計画を伺う。

答 駅前道路の歩道整備、及びバスベイ用地の交渉に入り 22 年度完成を目指している。駅前ロータリーの利用者増に向けては案内看板の設置で一般車の利用を即していく。
また、改札口までの歩道は整備を予定している。バリアフリーは 20 年度エスカレーターを設置し、エレベーター及び、多機能トイレ、スロープ工事は 21 年を予定している。

道路交通行政について

問 外環道路特別委員会で、第二京阪道路を視察してきた。東京外環と同じ年度に都市計画決定され、工法も同じだが、平成 21 年度完成を目指している。第二京阪は土地収用法の事業認定を進めた結果一挙に事業が進んだと聞く。外環事業者も収用法も視野に入れたと報道された。本市としても収用法の活用を即す考えを伺う。

答 外環用地取得も 91%。地域経済、交通環境、防災防犯等を考え、市民は早期開通を望んでいる。収用法は「公共事業者と土地権利者の間を公平な権利行使」も理念としており、強制的に買収はしない。しかし厳しい買収状況が続けば国も収用法を示唆している。本市としても早い完成に向け、事業者に対し強く文書で要望している。

市政一般について

問 現在の大柏出張所・大野公民館は、更なる市民サービス向上には限界と聞く。そこで施設の充実に向け、北部消防施設に公民館・図書館を併設し、出張所は現在の場所に残ると理解していたが、今回実施したアンケート結果について及び出張所の老朽化や駐車場問題が再浮上した。そこで将来を見据え、大柏出張所を支所へとする考えを伺う。

答 大野公民館利用者アンケートの結果、徒歩や自転車バイクの利用者が多く、近くに公民館を残して欲しいとの事を改めて認識した。大柏出張所も人口増地域の為、管轄窓口業務も拡大させ、地域密着型行政の拠点と考えたい。今迄の検討結果を見直し、消防施設と併用した大柏支所にする案が浮上した。支所案を推進して、より市民ニーズの対応が可能と考えている。

東京外かく環状道路 特別委員会

平成十九年度 現地視察
《外環道路・市川区間》

外環道路特別委員会委員十一名と首都国道事務所三名、東日本高速道路(株)別名ネクスコ二名、市川市都市計画部二名、議会事務局二名の総勢二十名にて市役所本庁舎より午後一時マイクロボスで出発し四箇所の継続工事の進捗状況と工事予定箇所を視察してまいりました。はじめに小塚山トンネル工事について、首都国道事務所の職員に説明をいただき、大変な工事を現地で説明していただきながら特に樹木の移植と、一四時間の工事に伴う騒音対策工法については



国分堀割部試験工事



高谷ジャンクションを望む

う騒音対策工法については大変努力をされており、防音ハウスの効果により、騒音がほとんど出ないとお聞きし、まずは安心をいたしました。次に国分試験工事箇所を視察し、試験工事とはいえ本格的な工事を身近な所で見てまいりました。また、十九年度より始まりまず工事箇所、特に京葉道路と交差接続する京葉ジャンクションの工事は現在の京葉道路を通行止めにし、本線を迂回する事を計画している大規模な工事の説明を伺いました。そして最後の視察場所、高谷ジャンクションは既に完成している橋脚を、クリンセンター展望室より見学し、首都国道事務所とネクスコの担当職員より詳しく説明をいただきました。

本格的とまでは言えませんが、いよいよ工事が始まったものと改めて感じたところであります。

《第二京阪道路》

外環道路特別委員会で、京都、大阪を結ぶ第二京阪道路を視察してまいりました。

第二京阪道路は、外環道路に匹敵する道路であり、違いといえば外環道路の掘割スリット式に対して、第二京阪道路は高架式と一部掘割式で、外環道路の千葉区間は十二・一kmに対し、第二京阪道路は市川区間の倍以上の二十八・三kmで、この内十・五kmはすでに共用を開始してまいりました。その他、環境保全区間の整備や工事方法などの体制は、まったくと言って良いほど同じでありました。しかし地元の欲目かもしれません。環境面や景観面では外環道路のほうが、掘割スリット工法の分、優れていると思っております。



第二京阪道路にて



しかし、外環道路につきましては、開通目標がすでに二回延期しており、現状では誰が見ても二十七年に完成するとは思えません。また、二十七年が完成年度としても、逆算してみますと工事で約五年、六年かかると言われており、そうしますと残された二、三年で用地取得が解決できなければ、間に合わない訳でございます。

早めにお買収にに応じていただいた方々のため、また、早い完成を望む多くの市民のためにも、早期整備を、是非ともお願いいたします。

